目次

ご使用の前に必ずお読みください。

正しくお使いいただくことでお使いになる方への危害および、財産への損害を未然に防ぐことができます。安全のために以下の警告事項、注意事項をお守りいただき、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

「安全上のご注意」の絵表示

⚠警告	⚠注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。記号の中や近くに注意内容が示されています。

例） 「感電注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為（やってはいけないこと）を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

注意 ⚠

禁止

本製品は以下のようなところ（環境）で使用および保管をしないでください。
故障の原因となることがあります。
- 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど）場所での使用（保管時は問題ありません）
- 湿気が多いところやホコリが多いところ
- 直射日光があたるところ
- 温湿度差の激しいところ
- 水気の多いところ（台所、浴室、水辺、海岸など）
- 腐食性ガス、油煙の中
- 静電気の影響が強いところ
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーター、コンロなど）
- 強い磁力・電波の影響を受けるところ（磁石、ディスプレイ、スピーカなどの近く）
- 振動や衝撃の加わる場所や傾いた場所
- 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど）場所での使用（保管時は問題ありません）

禁止

本製品は精密部品により構成されています。以下のことにご注意ください。
- 落としたり、衝撃を加えない
- 本製品の上に飲み物などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない

厳守

ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがをしたり、接続機器の故障の原因になります。また、ケーブルの上に重いものを載せないでください。じゅうたんの下などに配線したときは気づかず重いものを載せてしまいがちですので十分注意してください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が溶けたり、破れたりし、感電・ショート・火災の原因になります。

厳守

ほかの電子機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼし電波傷害をひきおこすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、音声が乱れたり、画像が乱れたりする場合があります。その場合は次のようにしてください。
- テレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- テレビやラジオのアンテナの向きを変えてください。
- コンセントを別に分けてしてください。

長時間に渡って映像をみるばあいは一定の間隔で休憩をとってください。また部屋を真っ暗にすると目に疲労が蓄積されますので部屋を適度に明るくしてご覧ください。

電源をオフにしてもランプ冷却のため排気ファンはしばらく回り続けます。 冷却ファンが止まるまで電源ケーブルを抜かないでください。

ランプモジュールのお取り扱い時は、手袋などをして素手ではさわらないようにしてください。ランプモジュールのプラスチック部分以外は、絶対にさわらないでください。ガラスが汚れると使用中に破損する恐れがあります。

ご使用直後はランプモジュール部分は大変高温になっています。絶対に触れないでください。ランプモジュールの交換はご使用後１時間程度放置し、余熱が完全に取れてから行ってください。やけどの恐れがあります。

ランプモジュールを落とさないようご注意ください。
ガラスが割れ、けがをする恐れがあります。

指定の電池（単4型乾電池）以外は使用しないでください。指定以外の電池を使用した場合、故障の原因となります。

電池を使い終ったときや、長時間使用しない時は取り出してください。
電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けが、故障などの原因となります。

電池取り付けには、極性に十分注意して取り付けてください。（電池には＋極と－極があります。）故障の原因となります。

本製品を使用中にデータなどが紛失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。
故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

警告 ⚠

厳守	煙がでている、へんなにおいがする、へんな音がするなどの異常が発生したときはすぐに使用を中止してください。万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。
水濡れ禁止	本製品を濡らさないでください。水気の多い場所で使用しないでください。お風呂場、台所、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。
厳守	本製品を設置するときは、他の機器、壁などから適当な間隔をとってください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。目安として10cm以上の空間を空けてください。
禁止	本製品は紙、布などの柔らかいものや軽いものの上に設置しないでください。通気孔（レンズに向かって右側面と、背面）に吸いついて内部の温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
禁止	本製品を使用するときは近くに燃えやすいものを置かないでください。 火災の原因となることがあります。
厳守	温度差のある場所への移動するとき、表面や内部が結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用するところで電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。
分解禁止	改造・分解はしないでください。お客様による修理は行なわないでください。 火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
禁止	本製品内部へ異物を入れないでください。金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。特に通風孔には異物がはいらないよう注意してください。
禁止	ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
禁止	使用中はレンズをのぞかないでください。 レンズからは非常に強い光が発せらていて、目を痛める原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

禁止	本製品は下記のようなところで使用しないでください。 故障の原因になったり、思わぬ事故のもとになります。 ● ほこりの多いところ ● 振動や衝撃の加わるところ ● 不安定なところ ● 通気孔（レンズに向かって右側面と、背面）がふさがるとこ ● 温度差の激しいところ ● 水分や湿気の多いところ ● 温度が高いところ
	使用中や使用後は排気孔（レンズのある面）およびその回り、設置台が熱くなります。 やけどの原因になりますので、触らないでください。
	ランプモジュールを交換するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となります。
禁止	電源ケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ケーブルが傷み、火災や感電の原因になります。 ● 引っ張ったり、折り曲げたりしない ● 圧力をかけたり、押しつけない、ものをのせない ● 加工しない ● 熱器具のそばで使わない
	電源プラグはほこりが付着していないことを確認して使用してください。接触不良で火災の原因になります。電源プラグは根本までしっかりさしてください。根本までさしてもゆるみがある場合は接続しないでください。販売店や電気工事店に依頼し、コンセントを交換してください。電源コンセントはたこ足配線、テーブルタップやコンピューターなどの裏側の補助電源への接続をしないでください。
	電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行なってください。電源コードを引っ張るとケーブルが傷み、火災の原因になります。電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手で行なわないで下さい。濡れた手で行うと感電の原因になります。

電池の液が漏れたときは、液に触れないでください。

- 電池の液が目にはいったり、体や皮膚につくと失明やけが、炎症の原因となります。液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
- 液が体や衣服についたときすぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は小さなこどもの手の届かない場所に置いてください。電池は飲み込むと、窒息したり、胃などに障害をおこしたりする原因になります。万一、飲みこんだときは、ただちに医師に相談してください。

（＋）（－）を金属類で短絡させないでください。液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。

電池から液が漏れたら、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液やそこから発生する気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。

電池を火の中に入れたり、加熱・分解・改造・充電しないでください。また、水で濡らさないでください。
液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。

電源ケーブルを取り扱つかうときは以下のことにご注意ください。

- 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。ケーブルを加工しないでください
- 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷み、火災・感電・故障の原因となります。
- 濡れた手で電源ケーブルのプラグをコンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手で本体に触らないで下さい。感電の原因となります。
- 電源ケーブルのプラグは根本までしっかり差し込んでください。ほこりが付着していないことを確認してからおこなってください。接触不良で火災の原因となります。

本製品を使用する際は、接続するパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

設置場所について

本プロジェクターは200 wのランプを使用しており、内部が大変熱くなります。以下の設置場所をお守りください。

- 風通しの良いところに設置してください。内部に熱がこもらぬ様、充分注意し、通風孔（レンズに向かって右側面と背面）をふさぐことなく、充分な空気循環ができるようにしてください。
- 高音になる場所には設置しないでください。直射日光があたる場所や、熱器具（ストーブ、ヒーター、ホットカーペットなど）の近くに設置しないでください。
- 屋内で使用してください。屋外で使用することを前提に設計されてません。故障の原因になります。
- 設置場所は、強度が充分あるところに設置してください。高い場所への設置時は、ぶつかったり、落下したりしないことを充分に注意し、安全に設置してください。
- 油煙や腐食性のガスのあるところには設置しないでください。
- 振動や連続的な衝撃の加わるようなところには設置しないでください。

見る場所について

- 画面との距離を適度にとってご覧ください。
- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度な明るさの中でご覧ください。長時間見るときは適度に休憩をしてください。

お手入れについて

- レンズや本体が汚れたときは乾いた柔らかくきれいな布等で軽く拭いてください。汚れがひどいときは柔らかくきれいな布に水または中性洗剤を含ませて良く絞ってから軽く拭いてください。
- 水滴などがレンズについた場合はすぐに乾いた柔らかくきれいな布等で拭いてください。そのまま使用すると、表示面が変色したり、シミになったりする原因となります。また、水分がつくと故障の原因となります。
- 清掃を行なうときは、かならず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

廃棄について

廃棄するときは、地方自治体が定める条例にしたがってください。

ランプの寿命について

- 本製品で使用しているランプモジュールには寿命があります。標準約２，０００時間になります。交換時期になると警告メッセージが画面内に表示されます。ランプ交換のページの方法に従い、ランプモジュールを交換してください。
- ランプは消耗品扱いです。
- ランプモジュールの寿命はあくまで目安として提示されるもので、この限りではない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ランプの寿命について
  ランプは個々の特性により、大きく差がございます。また、ご使用条件、環境、使用経過による劣化などにより、大きく寿命が異なる場合があります。予め交換用ランプを準備しておく事をお奨めいたします。

その他注意事項

- 保管時は高温多湿を避け、ほこりなどが進入しないよう保管して下さい。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 持ち運びするときは、付属のソフトケースに入れて衝撃をあたえたり、雨に濡らしたりしないよう注意してください。
- レンズは傷つき易いので硬い物でおしたり、こすったり、たたいたりしないでください。また、強い圧力をレンズおよび周囲に与えないで下さい。破損の恐れがあります。
- やむを得ず宅配便などで郵送する際は、オプションの専用ハードケースを利用するか、購入時のダンボールとクッションをお使いすることをおすすめします。
- Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Me、Windows 2000は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することはかたくお断りいたします。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更するばあいがあります。

VCCI

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくために、本取扱説明書に記載のすべての警告、注意事項、メンテナンス方法をお守りください。

⚠ 警告 - ランプ点灯中は、プロジェクターレンズをのぞかないでください。強力な光線により、視力障害が引き起こされる恐れがあります。

⚠ 警告 - 火災や感電の原因となるため、本製品を雨や湿気にさらさないようにしてください。

⚠ 警告 - 本製品のカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電する恐れがあります。

⚠ 警告 - ランプを交換する際は、本体の熱が冷めてから行い、取扱説明書に記載の指示に従ってください。

⚠ 警告 - 本製品は、ランプの寿命を自動的に検知します。警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。

⚠ 警告 - ランプモジュールを交換した場合は、オンスクリーンメニューの「ランプ設定」にある「ランプリセット」機能をリセットしてください（35ページを参照してください）。

⚠ 警告 - プロジェクターの電源は、必ずプロジェクターの冷却サイクルが完了してから切ってください。

⚠ 警告 - まずプロジェクターの電源を入れた後、信号入力源の電源を入れてください。

⚠ 警告 - プロジェクターが動作中は、レンズキャップを使用しないでください。

⚠ 警告 - ランプが寿命に近づくと、ランプはじきに切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクターの電源を入れることはできません。ランプを交換するには、「ランプの交換」に記載の手順に従ってください（40ページ参照）。

推奨事項：

- お手入れをするときは、プロジェクターの電源を切ってください。
- ディスプレイ筐体は、中性洗剤で軽く湿らせた柔らかい布で拭いてください。
- 本製品を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止事項：

- 本体の通風用のスロットや開口部を塞がないでください。
- 本体を研磨材入りクリーナー、ワックス、溶剤などでお手入れしないでください。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
    - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
    - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
    - 強い磁場を生成する機器の近く。
    - 直射日光の当たる場所。

製品の特長

Optoma社製 EP7150プロジェクターをお買い求め頂き、誠にありがとうございます。本製品は、XGA シングルチップ 0.55" DLP™プロジェクターです。以下のような優れた機能を備えています。

- リアルXGA、アドレス可能解像度 1024 x 768 ピクセル
- Texas Instruments社 シングルチップDLP™ テクノロジー採用
- NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/SECAM/HDTV 互換(480i/p, 576i/p, 720p, 1080i)
- マルチオート機能 :自動捜索機能、ユーザ変更設定を自動的に保存
- 赤外線リモコン(レーザーポインタ付)
- 操作が簡単な多言語対応オンスクリーンメニュー
- 高度デジタルキーストトン補正(台形補正)および高品質フルスクリーン画像リスケール
- 操作が簡単なコントロールパネル
- 内蔵スピーカー搭載(1台)
- UXGA、SXGA+、SXGA 圧縮およびSVGA、VGAリサイズ
- Mac対応

パッケージ内容

本パッケージには、プロジェクター本体および以下の付属品が含まれます。まず、すべての付属品が揃っていることをご確認ください。万一不足品がございましたら、お手数ですが販売店までご連絡ください。

レンズキャップ付プロジェクター

電源コード(1.8m)

VGAケーブル(1.8m)

コンポジットビデオケーブル(1.8m)

ワイヤレスリモコン

SCART VGA/S-ビデオアダプタ(ヨーロッパ地域のみ)

❖ 付属品はお住まいの国や地域によって異なります。

単三電池(2本)

キャリーバッグ

電源コードについて注意事項:

1. 必ずアース接続を行ってください。
2. アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行って下さい。
   また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行って下さい。
3. 本製品付属電源ケーブルは日本国内仕様(AC100V)になりますので、海内での使用できません。

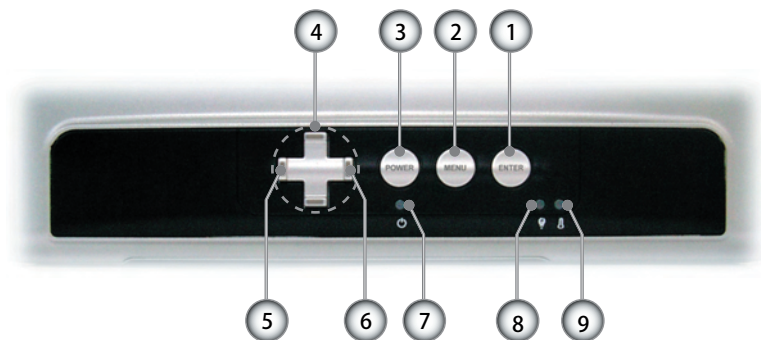
付属書類:

- ☑ 取扱説明書
- ☑ クイックスタートカード
- ☑ 保証書
- ☑ トラブル解決クイックガイド

製品の各部名称

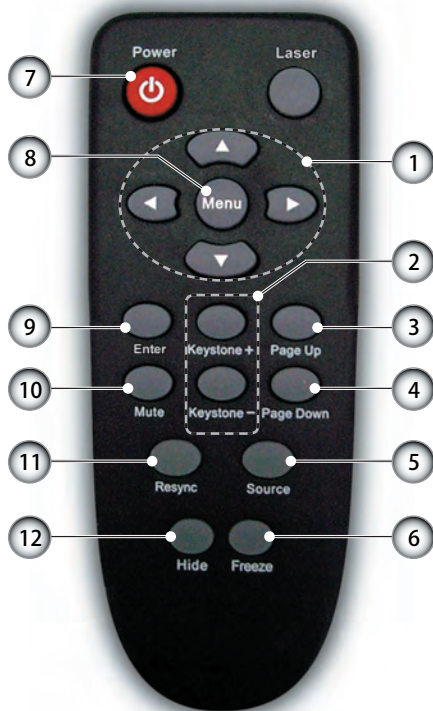
本体

1. コントロールパネル
2. ズームレバー
3. 電源差込口
4. スピーカー
5. エレベータボタン
6. ズームレンズ
7. フォーカスリング
8. 赤外線受光部
9. 接続端子

コントロールパネル

1. ENTER
2. メニュー(オン/オフ)
3. 電源
4. 4方向選択キー
5. ソース選択
6. 再同期
7. 電源LED
8. ランプインジケータLED
9. 温度インジケータLED

接続端子

1. VGA入力端子(PCアナログ信号/SCART RGB/HDTV/コンポーネントビデオ入力)
2. コンポジットビデオ入力端子
3. S-ビデオ入力端子
4. 音声入力端子
5. サービス端子
6. 盗難防止用 Kensington™ロックポート

リモコン

1. 4方向選択キー
2. キーストン +/-
3. ページアップ
4. ページダウン
5. ソース選択
6. 画面のフリーズ
7. 電源
8. メニュー
9. ENTER
10. ミュート
11. 再同期
12. 非表示

プロジェクターの接続

RGB

S-ビデオ出力

ビデオ出力

DVD プレーヤー、セットトップボックス、HDTV 受信機

1. .... VGAケーブル
2. .... 音声入力ケーブルオプション
3. .... コンポジットビデオケーブル
4. .... S-ビデオケーブルオプション
5. .... 音声出力ケーブルオプション
6. .... SCART VGA/S-ビデオアダプタ（欧州のみ）
7. .... D-15-RCA アダプタ（YPbPr 用）オプション

❖ 付属品はお住まいの国や地域によって異なる場合があります。

❖ お使いのコンピュータでプロジェクターを正常に機能させるために、お使いのグラフィックカードのディスプレイモードの解像度を1600 x 1200未満に設定してください。ディスプレイモードのタイミングがプロジェクタに合うようにします。41ページの「互換モード」を参照してください。

プロジェクターの電源オン/オフ

プロジェクターの電源を入れる

1. レンズキャップを取り外します。❶
2. 電源コードと信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。正しく接続されている場合は、電源LEDが緑で点滅します。
3. コントロールパネルの [電源] ボタンを押してランプの電源を入れます。❷電源が入ると、電源LEDが緑の点灯に変わります。
4. ソース(コンピュータ、ノートパソコン、ビデオプレーヤー等)の電源を入れます。プロジェクタは自動的にソースを検出し、[プロジェクション設定] メニューに表示されます。[ソースロック] が [オフ] に設定されているかどうか確認してください。

❖ 複数のソースを同時に接続している場合は、コントロールパネルまたはリモコンの [ソース] ボタンを使って切り換えることができます。

❖ まずプロジェクターの電源を入れてから、信号ソースの電源を入れてください。

プロジェクターの電源を切る

1. [電源] ボタンを押してプロジェクターランプの電源を切ります。するとプロジェクター画面に次のメッセージ

   ランプを消しますか? ビデオミュート

   がプロジェクターの画面に表示されます。電源を切るには、もう一度 [電源] ボタンを押します。押さなければメッセージは5秒後に消えます。

   ▶キーを押すと、プロジェクターは「画像ミュート」モードに入り、画像が表示されなくなります。「画像ミュート」モードを終了するには、[電源] ボタンをもう一度押します。
2. 冷却ファンが冷却サイクルを終了するまで約20秒間動作を続け、その間電源LEDは緑で点滅します。電源LEDの点滅が始まると、プロジェクターがスタンバイモードに切り換わったことを意味します。

   もう一度プロジェクターをオンにしたい場合は、プロジェクターの冷却サイクルが完了し、スタンバイモードに入るまで待つ必要があります。スタンバイモード中は、[電源] ボタンを押すだけでプロジェ クターを再起動させることができます。
3. 電源コードをコンセントおよびプロジェクターから抜きます。
4. 電源を切った直後は、プロジェクターの電源を入れないでください。

警告インジケータ

- [LAMP(ランプ)] インジケータが赤く点灯した場合、プロジェクターは自動的に電源が切れます。最寄の販売店あるいはカスタマーサービスまでご連絡ください。詳細は42ページをご参照ください。
- [TEMP(温度)] インジケータが60秒間赤く点灯した場合は、プロジェクターが過熱状態であることを意味します。プロジェクターの電源が自動的に切れます。
  通常の状況で、プロジェクターは冷却後にもう一度電源を入れることができます。それでも問題が解決しない場合は、最寄の販売店あるいはカスタマーサービスまでご相談ください。お問い合わせ先につきましては、42ページをご参照ください。
- [TEMP(温度)] インジケータが赤く点灯した場合は、ファンが正常に機能していないことを意味します。最寄の販売店あるいはカスタマーサービスまでご連絡ください。詳細は42ページをご参照ください。

投写映像の調整

プロジェクターの高さを調整する

本プロジェクターには、投写映像の高さを調整するためのエレベータフットがあります。

<u>映像を上に移動するには：</u>

1. エレベータボタン❶を押します。
2. 映像をご希望の高さ（角度）になるまで上げたら❷ボタンから手を離し、エレベータフットをロックします。
3. 表示角度を微調整するには、チルト調整フット❸のネジを回して調節してください。

<u>映像を下に移動するには：</u>

1. エレベータボタンを押します。
2. 映像をご希望の高さ（角度）になるまで下げたらボタンから手を離し、エレベータフットをロックします。
3. 表示角度を微調整するには、チルト調整フット ❸のネジを回して調節してください。

❖投影後の調整は前面の排気口に注意して下さい。やけどの恐れがあります。

プロジェクターのズーム/フォーカスを調整する

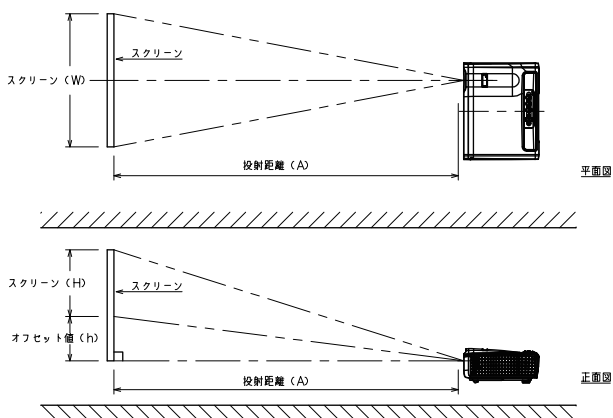
ズームレバーを回してズームイン/ズームアウトします。映像にピントを合わせるには、映像がクリアに表示されるまでフォーカスリングを回します。本プロジェクターは、機械上の誤差を含めて1.5〜12.0m（4.9〜39.4フィート）の距離内でピントを合わせることができます。

■投写距離表

「アスペクト比4:3」

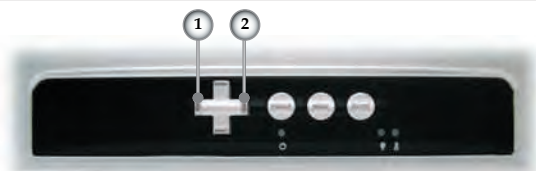
スクリーンサイズ（型）	投写距離（A）		オフセット値（h）［スクリーン端〜レンズセンターまで］
	最短	最長	
50	約1.96m	約2.16m	約11cm
60	約2.35m	約2.60m	約14cm
70	約2.75m	約3.03m	約16cm
80	約3.14m	約3.46m	約18cm
90	約3.53m	約3.90m	約21cm
100	約3.92m	約4.33m	約23cm
120	約4.71m	約5.19m	約27cm
150	約5.88m	約6.49m	約34cm
200	約7.84m	約8.66m	約46cm
250	約9.80m	約10.82m	約57cm
300	約11.77m	約12.98m	約69cm

（注）投射距離（A）は計算値のため若干変動します。

■投写関係図

（注）この図面は正確な縮尺ではありません。

コントロールパネルおよびリモコン

プロジェクターは、コントロールパネルおよびリモコンの2種類の方法で操作することができます。

コントロールパネルのボタン

Power（電源）	18～19ページの「プロジェクターの電源オン/オフ」を参照してください。
Source（ソース）1	[ソース] を押して入力信号を選択します。
Menu（メニュー）	このボタンを押してメニューをオン/オフします。
4方向選択キー	▲ ▼ ◀ ▶ を押してメニュー間を移動します。
ENTER	選択した項目を確定します。
Sync（同期化）2	プロジェクターを自動的に入力ソースと同期化します。

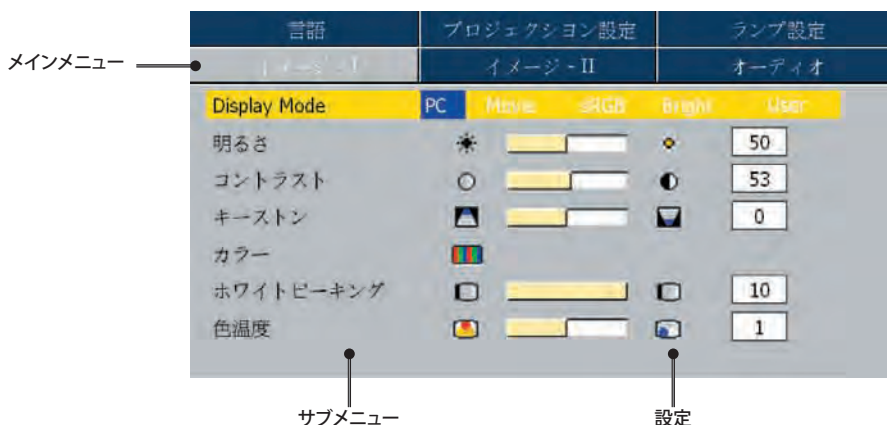
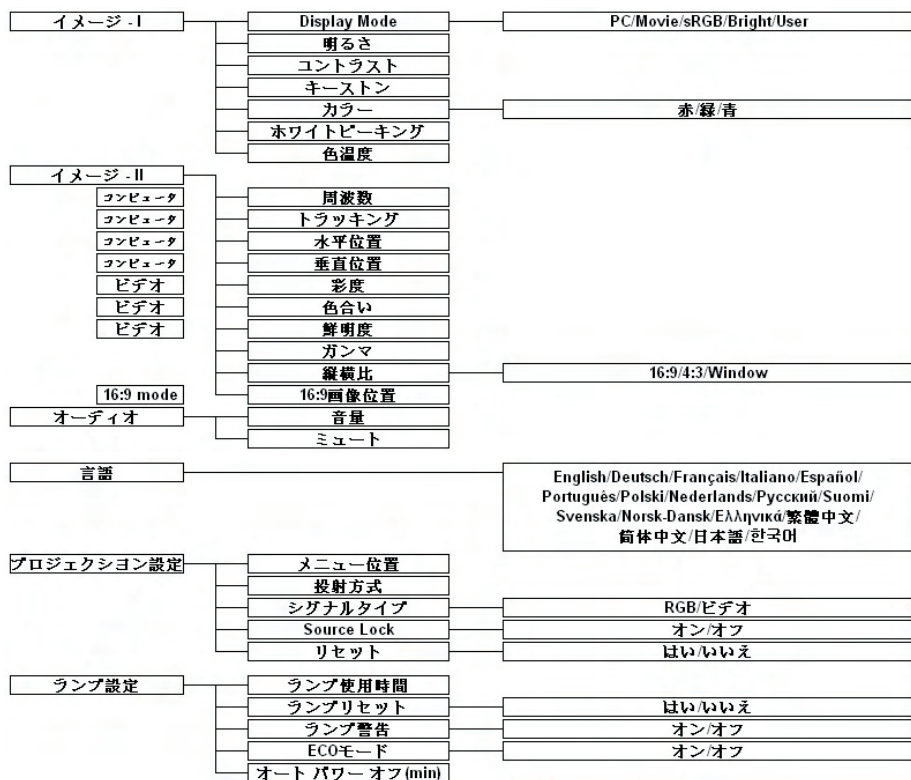
リモコンのボタン

Power（電源）	18〜19ページの「プロジェクターの電源オン/オフ」を参照してください。
Resãnc（再同期）	プロジェクターを自動的に入力ソースと同期化します。
Source（ソース）	[ソース] を押して入力信号を選択します。
Keystone（キーストン）	プロジェクターを斜め方向から投写することにより生じる、画像のゆがみを調整します（±16度）。
Mute (ミュート)	一時的に音声を切ることができます。
Hide (非表示)	一時的に画像を切ることができます。
Freeze（画面のフリーズ）	[画面のフリーズ] ボタンを押すと、スクリーン画像が一時停止します。
Page Up（ページアップ）	このボタンを押して、ページを上に移動します。
Page Down（ページダウン）	このボタンを押して、ページを下に移動します。
4方向選択キー	▲ ▼ ◀ ▶ を押してメニュー間を移動します。
Menu（メニュー）	プロジェクターのオンスクリーンメニューを表示/終了します。
Enter（確定）	選択した項目を確定します。

オンスクリーンメニュー

本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。プロジェクターは自動的にソースを捜索(検出)します。

操作方法

1. オンスクリーンメニューを開くには、リモコンまたはコントロールパネルの [メニュー] ボタンを押します。
2. オンスクリーンメニューが表示されたら、◀ ▶ キーを使ってメインメニューの項目を選択します。特定のページを選択し、▼ キーを押してサブメニューに進みます。
3. ▼ ▲ キーを使って任意の項目を選択し、◀ ▶ キーを使って設定を調整します。
4. サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. [メニュー] を押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度 [メニュー] ボタンを押します。オンスクリーンメニューが閉じ、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。

メニューツリー（階層）

イメージ - I
Display Mode
PC/Movie/sRGB/Bright/User
明るさ
コントラスト
キーストン
カラー
赤/緑/青
ホワイトピーキング
色温度
イメージ - II
コンピュータ
コンピュータ
コンピュータ
コンピュータ
ビデオ
ビデオ
ビデオ
16:9 mode
周波数
トラッキング
水平位置
垂直位置
彩度
色合い
鮮明度
ガンマ
縦横比
16:9/4:3/Window
16:9画像位置
オーディオ
音量
ミュート
言語
English/Deutsch/Français/Italiano/Español/
Português/Polski/Nederlands/Русский/Suomi/
Svenska/Norsk-Dansk/Ελληνικά/繁體中文/
简体中文/日本語/한국어
プロジェクション設定
メニュー位置
投射方式
シグナルタイプ
RGB/ビデオ
Source Lock
オン/オフ
リセット
はい/いいえ
ランプ設定
ランプ使用時間
ランプリセット
はい/いいえ
ランプ警告
オン/オフ
ECOモード
オン/オフ
オート パワー オフ(min)

言語

言語

多言語対応オンスクリーンメニューをご希望の言語に設定します。▲ / ▼ キーを使ってお好みの言語を選択します。

[ENTER] を押すと選択が確定されます。

イメージ - I

Display Mode

さまざまな映像方式用に最適化されたプリセット設定が用意されています。

- PC :コンピュータ/ノートパソコン用
- Movie :ホームシアター用
- sRGB:標準PCカラー用。
- Bright:ブライトモード用。
- User:ユーザー設定用

明るさ

画像の輝度を調整します。

- ◀ を押すと画像が暗くなります。
- ▶ を押すと画像が明るくなります。

コントラスト

コントラストは、画像や映像の最暗部(黒)と最明部(白)の差の度合いを調整します。コントラストを調整すると、画像の黒と白の量が変化します。

- ◀ を押すとコントラストが弱くなります。
- ▶ を押すとコントラストが強くなります。

キーストン (キーストン補正)

プロジェクターを斜め方向から投写することにより生じる、画像のゆがみを調整します。(±16度)

カラー

[ENTER] を押して赤、緑および青色を調整します。

ホワイトピーキング

ホワイト レベルを使ってDMDチップのホワイトレベルを設定します。
0 は最低レベル、10は最大レベルを表します。画像をより明るくしたい場

合は、最大設定方向に調整します。画像をよりスムーズに、より自然にしたい場合は、最小設定方向に調整します。

色温度

色温度を調整します。温度が高いと、青みの強い冷たい雰囲気の映像になり、温度が低いと、赤みの強い暖かい雰囲気の映像になります。

イメージ - II (コンピュータモード)

周波数

「周波数」を調整して、ディスプレイデータ周波数を、コンピュータのグラフィックカード周波数に適合させせます。映像に縦の縞模様やちらつきが表れる場合は、この機能を使って調整します。

トラッキング

「トラキング」は、ディスプレイの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。画像が乱れたりちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。

水平位置

- ◀ を押すと画像が左に移動します。
- ▶ を押すと画像が右に移動します。

垂直位置

- ◀ を押すと画像が下に移動します。
- ▶ を押すと画像が上に移動します。

ガンマ

入力ソースを最高画質で再現するために微調整されたガンマテーブルを選択することができます。

縦横比

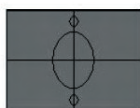
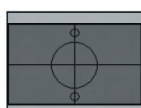
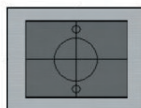
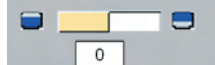
ここで、ご希望のアスペクト比を選択します。

- 4:3 : 入力ソースは、標準の投写スクリーンサイズに合うようリサイズされます。
- 16:9 : 入力ソースは、ワイドスクリーンに合うようリサイズされます。
- Window:4:3映像が16:9スクリーンからはみ出す場合、「Window」モードを選択すると、投写距離を変更することなく映像をスクリーンサイズにリサイズすることができます。

16:9 画像位置

アスペクト比を16:9に設定しているときは、ここで画像位置を上下に調整します。

- ◀ を押すと画像が下に移動します。
- ▶ を押すと画像が上に移動します。

Note

- “16:9画像位置” 機能は、16:9アスペクト比でサポートされています。.

イメージ - II (ビデオモード)

ガンマ

入力ソースを最高画質で再現するために微調整されたガンマテーブルを選択することができます。

彩度

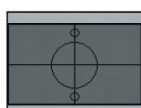
ビデオ映像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

- ◀ を押すと画像の彩度が低くなります。
- ▶ を押すと画像の彩度が高くなります。

色合い

赤と緑の色バランスを調整します。

- ◀ を押すと画像の緑が弱くなります。
- ▶ を押すと画像の赤が強くなります。

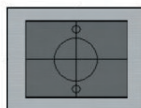
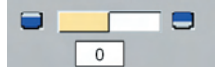
❖ “彩度”、“色合い” および “鮮明度 ” 機能は、DVI-D モードではサポートされていません。

鮮明度

画像のシャープネスを調整します。

- ◀ を押すとシャープネスが弱くなります。
- ▶ を押すとシャープネスが強くなります。

縦横比

ここで、ご希望のアスペクト比を選択します。

- 4:3 : 入力ソースは、標準の投写スクリーンサイズに合うようリサイズされます。
- 16:9 : 入力ソースは、ワイドスクリーンに合うようリサイズされます。
- Window:4:3映像が16:9スクリーンからはみ出す場合、「Window」モードを選択すると、投写距離を変更することなく映像をスクリーンサイズにリサイズすることができます。

16:9 画像位置

アスペクト比を16:9に設定しているときは、ここで画像位置を上下に調整します。

- ◀ を押すと画像が下に移動します。
- ▶ を押すと画像が上に移動します。

- "16:9 画像位置" 機能は、16:9 アスペクト比でサポートされています。

オーディオ

音量

- ◀ を押すと音量が下がります。
- ▶ を押すと音量が上がります。

ミュート

- 左アイコンを選択するとミュートがオンになります。
- 右アイコンを選択するとミュートがオフになります。

プロジェクション設定

メニュー位置

スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。

投射方式

- 正面-卓上

  工場出荷時はこれに設定されています。

- 裏側-卓上

  この機能を選択すると、透過スクリーンの裏側から投写できるように画像が反転します。

シグナルタイプ

信号方式を RGB または Video ソースから選択します。

Source Lock

- オフ: プロジェクターは、現在の入力信号が途切れると、自動的に他の信号を捜索します。
- オン: プロジェクターは、 指定した接続ポートを捜索します。

リセット

変更した値や設定を、工場出荷時設定に戻します。

- はい (実行) : すべてのメニューの設定が工場出荷時設定に戻ります。
- いいえ (キャンセル) : 設定の変更をキャンセルします。

ランプ設定

ランプ使用時間

ランプの累計運転時間を表示します。

ランプリセット

ランプ交換後、ランプの寿命カウンタをリセットする際に使用します。

ランプ警告

ランプ交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。このメッセージは、ランプ寿命が切れる30時間前に表示されます。

ECOモード

[オン] を選択するとプロジェクターランプの光量を減らして電源消費量を少なくし、寿命を最大130%延長することができます。[オフ] を選択すると通常モードに戻ります。

オート パワー オフ(min)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの信号の送信が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます。

故障かなと思ったら

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合は、最寄の販売店あるいはカスタマーサービスまでご相談ください。お問い合わせ先につきましては、42ページをご参照ください。

問題 :スクリーンに何も画像が表示されない

- すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- コネクタのピンが曲がっていないか、または壊れていないか確認してください。
- プロジェクターランプが正しく取り付けられているか確認してください。「ランプの交換」を参照してください。
- レンズキャップが付いていないか、また、プロジェクターの電源が入っているか確認してください。
- 「非表示」機能がオンに設定されていないか確認してください。

問題 :映像の両端が切れる、または映像に乱れやノイズが発生する

- リモコンの [再同期] またはコントロール パネルの ▶ ボタン を押してください。
- PC使用時 :

Windows 3.x:

1. [Windows Program Manager] で、[Main] グループの [Windows Setup] アイコンをダブルクリックします。
2. [画面の領域] 設定が 1600 x 1200ピクセル以下に設定されていないか確認してください。

Windows 95, 98, 2000, XP:

1. [マイコンピュータ] アイコンから[コントロールパネル] フォルダを開き、[画面] アイコンをダブルクリックします。
2. [設定] タブを選択します。
3. [詳細] ボタンをクリックします。

それでもプロジェクターから画像全体が投写されない場合は、現在使用しているモニタディスプレイを変更する必要があります。以下の手順をご参照ください。

4. [画面の領域] 設定が1600 x 1200ピクセル以下に設定されていることを確認してください。

5. [Monitor（モニタ）] タブの[Change（変更）] ボタンを選択します。
6. [Show all devices（全デバイス表示）] をクリックします。次に、SPボックスで [Standard monitor types（標準モニタタイプ）] を選択し、[Models（モデル）] ボックスで必要な解像度モードを選択します。

- ノートパソコン使用時 :
1. まず、上記の手順に従ってコンピュータの解像度を調整します。
2. 次に、トグル出力設定を押します。例 : [Fn]+[F4]

Compaq=>	[Fn]+[F4]	Hewlett-Packard	=>	[Fn]+[F4]
Dell =>	[Fn]+[F8]			
Gateway=>	[Fn]+[F4]	NEC=>		[Fn]+[F3]
IBM=>	[Fn]+[F7]	東芝 =>		[Fn]+[F5]

Mac アップル :
System Preference（システム環境設定）-->Display（ディスプレイ）-->Arrangement（調整）-->Mirror display（ミラーディスプレイ）

- 解像度を変更できない場合やモニタがフリーズした場合は、プロジェクターを含むすべての機器を再起動してください。

問題 :ノートパソコンの画面に、投写映像が表示されない

- ノートパソコン使用時 :

  ノートパソコンの機種によっては、第二ディスプレイ機器使用中は、スクリーンが自動的に無効となります。再びスクリーンを有効にする方法は機種によって異なります。詳細につきましては、お使いのコンピュータの取扱説明書をご参照ください。

問題 :画像が乱れる、またはちらつく

- [トラキング] を使って修正してください。
- コンピュータのモニタのカラー設定を変更してください。

問題 :映像に縦の縞模様が出る

- [周波数] を調整してください。
- グラフィックカードのディスプレイモードがプロジェクターと一致しているか確認し、一致していない場合は再設定してください。

問題 :画像のピントが合っていない

- プロジェクターレンズのフォーカスリングで調整してください。

- プロジェクターと投写スクリーン間の距離が1.5～12.0m（4.9～39.4フィート）以内にあることを確認してください。詳細は21ページをご参照ください。

問題 :16:9 DVDを再生表示しているとき、映像が伸びる

プロジェクターは自動的に16:9 DVDを検出し、デフォルトの4:3設定により全画面サイズへとデジタル調整することで、アスペクト比を調整します。

それでも映像が伸びるときは、次の手順に従ってアスペクト比を変更する必要があります。
- 16:9 DVDを再生している場合は、DVDプレーヤーのアスペクト比を4:3に設定してください。
- DVDプレーヤーでアスペクト比4:3を選択できない場合は、オンスクリーンメニューでアスペクト比を4:3に設定してください。

問題 :ランプが消える、またはランプから破裂音がする

- ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクターの電源を入れることはできません。ランプを交換するには、「ランプの交換」に記載の手順に従ってください。

問題 : LED 点灯メッセージ

メッセージ				電源LED（緑）	ランプLED	温度LED
スタンバイ状態 (入力電源コード)				点滅 0.5Hz	○	○
警告				点滅 1Hz	○	○
ランプ点灯/電源オン				☼	○	○
電源オフ（冷却）				☼	○	○
エラー（ランプトラブル）				○	点滅 2Hz	○
エラー（温度トラブル）	スタンバイモード	温度トラブル		点滅 1Hz	○	点滅 0.5Hz
		復旧		点滅 0.5Hz	○	☼
	作動モード	温度トラブル	T<3分（ファンの冷却）	☼	○	☼
			T>3分（ファンオフ）	点滅 0.5Hz	○	☼
		復旧		点滅 0.5Hz	○	☼
エラー（過熱）				点滅 0.5Hz	○	☼
エラー（ファントラブル）				点滅 0.5Hz	○	☼
エラー（ランプ故障）				点滅 1Hz	点滅 0.5Hz	○
ランプトラブルの再試行				○	点滅 1Hz	点滅 1Hz

点灯 => ☼
消灯 => ○

問題 :警告メッセージ

- ファンのトラブル :

ファンのエラーです。
ランプはまもなく自動的に消えます。

- 過熱 :

Projector overheated
ランプはまもなく自動的に消えます。

- 電源オフ時:

ランプを消しますか? ビデオミュート

- ランプ交換 :

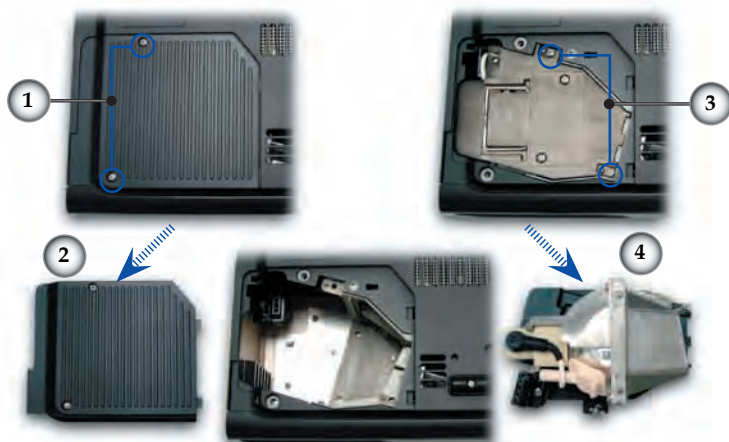
ランプの寿命が近づいています。
ランプを交換してください!

ランプの交換

プロジェクターは、ランプの使用時間を記録します。寿命が近づくと警告メッセージが表示されます。

ランプの寿命が近づいています。
ランプを交換してください！

⚠ 警告 :ランプ周辺は高熱になっています！約30分間お待ちいただき、ランプの熱が冷めてから交換してください。

このメッセージが表示された場合は、すぐにランプを交換してください。ただし、ランプを交換する前に、プロジェクターが十分冷却されるまで約30分お待ちください。

⚠ 警告 :怪我を防ぐため、ランプを落下させたり、ランプのバルブに触れることのないようご注意ください。バルブが落下すると粉々に砕けて飛び散り、怪我をする恐れがあります。

ランプ交換手順 :

1. [電源] ボタンを押してプロジェクターの電源を切ります。
2. ランプが十分冷却されるまで約30分間お待ちください。
3. 電源コードを外します。
4. カバーに取り付けられているネジを、ドライバーで取り外します。❶
5. カバーを押し上げて取り外します。❷
6. ランプモジュールの2本のネジを取り外します。❸
7. ランプモジュールを引き上げます。❹

ランプモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。

互換モード

モード	解像度	(アナログ)	
		垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)
VESA VGA	640 x 350	70	31.5
VESA VGA	640 x 350	85	37.9
VESA VGA	640 x 400	85	37.9
VESA VGA	640 x 480	60	31.5
VESA VGA	640 x 480	72	37.9
VESA VGA	640 x 480	75	37.5
VESA VGA	640 x 480	85	43.3
VESA VGA	720 x 400	70	31.5
VESA VGA	720 x 400	85	37.9
VESA SVGA	800 x 600	56	35.2
VESA SVGA	800 x 600	60	37.9
VESA SVGA	800 x 600	72	48.1
VESA SVGA	800 x 600	75	46.9
VESA SVGA	800 x 600	85	53.7
VESA XGA	1024 x 768	60	48.4
VESA XGA	1024 x 768	70	56.5
VESA XGA	1024 x 768	75	60.0
VESA XGA	1024 x 768	85	68.7
* VESA SXGA	1152 x 864	70	63.8
* VESA SXGA	1152 x 864	85	77.1
* VESA SXGA	1280 x 1024	60	63.98
* VESA SXGA	1280 x 1024	75	79.98
* VESA SXGA+	1400 x 1050	60	63.98
* VESA UXGA	1600 x 1200	60	75
MAC LC 13”	640 x 480	66.66	34.98
MAC II 13”	640 x 480	66.68	35
MAC 16”	832 x 624	74.55	49.725
MAC 19”	1024 x 768	75	60.24
* MAC	1152 x 870	75.06	68.68
MAC G4	640 x 480	60	31.35
i MAC DV	1024 x 768	75	60
* i MAC DV	1152 x 870	75	68.49
* i MAC DV	1280 x 960	75	75

注 :“*”は圧縮コンピュータ画像です。

Optoma 社 お問い合わせ先

サービスやサポートにつきましては、最寄のオフィスまでご連絡ください。

アメリカ

715 Sycamore Drive
Milpitas, CA 95035, USA
www.optomausa.com
TEL : 408-383-3700
FAX: 408-383-3702
カスタマーサービス :service@optoma.com

カナダ

120 West Beaver Creek Road Unit #9
Richmond Hill, ON L4B 1L2, Canada
TEL :905-882-4228
FAX: 905-882-4229
www.optoma.com

ヨーロッパ

42 Caxton Way, The Watford Business Park
Watford, Hertfordshire, WD18 8QZ, UK
TEL :+44 (0) 1923 691 800
FAX: +44 (0) 1923 691 888
www.optomaeurope.com
カスタマーサービス TEL :+44 (0)1923 691865
メールアドレス :service@tsc-europe.com

台湾

231 台北県新店市
民権路108号5階
TEL : +886-2-2218-2360
FAX: +886-2-2218-2313
www.optoma.com.tw
カスタマーサービス :services@optoma.com.tw asia.optoma.com

香港

Unit 901, 9/F., Vogue Centre, No. 696
Castle Peak Road, Kowloon, Hong Kong
TEL :+852-2396-8968
FAX : +852-2370-1222
www.optoma.com.cn

中国

5F, No. 1205, Kaixuan Rd.,
Changning District
Shanghai, 200052, China
TEL : +86-21-62947376
FAX: +86-21-62947375
www.optoma.com.cn

南米

715 Sycamore Drive
Milpitas, CA 95035, USA
TEL : 408-383-3700
FAX: 408-383-3702
www.optoma.com.br
www.optoma.com.mx

日本

株式会社オーエス
東京都足立区綾瀬3-25-18 オーエス本社ビル
メールアドレス:info@os-worldwide.com
お客様相談窓口: 0120-46-5040
www.os-worldwide.com